

令和3年度 小谷村教育委員会 9月定例会 会議録

◎開催日時 令和3年9月27日（月）
開会：16時30分 閉会：17時15分

◎開催場所 小谷村教育委員会 相談・応接室

◎出席者 教育長 関 芳明
教育長職務代理者 太田 久吉
教育委員 片山 弥生
教育委員 深澤 和子

◎欠席者 教育委員 太田 明

◎傍聴者 なし

◎職務のため出席した者 教育課長 鷲澤 美幸

1 開 会 （16：30）

○教育長 令和3年度小谷村教育委員会9月定例会の開会を告げる。

太田 明 教育委員さんは、都合により欠席です。なお、本日は議決いただく事項はありませんので、報告事項のみとなります。

2 日程の報告

日程第1 8月定例会会議録の承認

○教育長 8月の定例会の会議録は事前にお送りしましたが、内容について加筆訂正等ありませんか。 《なしの声あり》

それでは、会議録については異議なしということで署名をお願いしたいが、よろしいでしょうか。

○出席委員 了解する。

日程第2 教育長事務報告

○教育長 出席した会議等、資料のとおりです。事務報告についてご意見や質問など、ありましたら、自由討議の際発言をお願いします。

日程第3 報告及び協議事項

○教育長 本日はご審議いただき議案はありませんので、報告及び協議事項にうつります。児童生徒の様子ですが、特別変わったことはありません。コロナ禍ではありますが、先週19日の小学校の運動会には、委員の皆さんにもご参加いただきました。また、25日に開催しました保育園の運動会も、晴天に恵まれて開催することが

できました。限られた時間の中ですが、練習の成果を発揮できたと思います。子どもたちの様子など、お気づきになったことなどありましたら、お出してください。

- 深澤委員 小学校の運動会に、中学生は参加しないことになったのですか。
- 教育課長 新型コロナの対応で、今年は参加しないことになりました。コロナのことがなければ、中学生も参加していただくことになると思います。
- 深澤委員 会場で中学校の先生に会って、「今年は、中学生は参加しないのですね」という話をしましたら、「コロナのこともありますが、中学校では以前から小学校の運動会は小学生が主役なのだから、中学生が参加して注目を集めるのはいかがか」ということで、中学生は遠慮した方が良く考えている。」というお話でした。
- 教育長 小谷小開校当初は、学校が近いことから「中学生のすごいところを見せる」ということも目的にあったと思います。コロナのこと、校長先生が変わられたことなどがあって、中学生を呼ばなかったということですが、平常に戻った時にどうするか、考えさせていただきたいと思います。
- 深澤委員 決定事項ではなく、コロナのために時間短縮を図るための手段という考えでよろしいですか。
- 教育長 そのとおりです。小学校・中学校それぞれの校長先生の考えを聞いて、今後どうするか決定します。

9月議会一般質問について、資料1をお配りしました。吉澤学議員からコロナウイルス感染症対策について、「ワクチン未接種、未就学児～保育園児～小学生～中学生、それぞれの施設で発症するとクラスターが起ると想定される。そのための対応策は万全か。」という質問です。教職員ワクチン接種状況、スクールバス運転手のワクチン接種状況、コロナが発生した場合の対応策についての質問がありました。答弁としては、記載のとおりで、これ以上の再質問はありませんでした。

次に、千葉石の報道発表について報告いたします。すでに新聞等でご覧いただいたと思いますが、9月16日報道機関に対して期限を定めて発表しました。テレビ・ラジオ・インターネットは17日の17:00から、新聞は18日の朝刊から報道を解禁しています。「世界で2番目の千葉石産出地。「沖岩体」及び千葉石などの「シリカクラスレート鉱物とその仮晶」を小谷村の天然記念物に指定」。長野県小谷村は、令和3年4月、千葉石を産出した「沖岩体」及び千葉石などの「シリカクラスレート鉱物とその仮晶」の2件を小谷村の天然記念物に指定しました。千葉石はシリカクラスレート鉱物の一種で、ケイ素と酸素が中空のサッカーボールのような「カゴ」状の骨格構造を形成しており、そのかごの中にメタンなどの天然ガス分子が閉じ込められている希少鉱物です。産出地については地層保護のため一般公開はしませんが、2022年度以降、採取された千葉石等を小谷村郷土館に展示します。という内容です。詳細は、資料2のとおりですのでご覧ください。10月9日午後と10日午前中土のやまつばきを会場に、国立科学博物館の門馬先生を講師に報告講演会を開催します。先着の申し込み制ですが、よろしければ聴講いただきたいと思います。

- 太田久吉委員 来年度から小谷村郷土館とフォッサマグナミュージアムに展示すると報道されましたが、現地ではこれ以上採取はできないのですか。

○教育長 現地は、採取できないように防護柵で囲いましたので、これ以上の採取は行わないということだと思います。

○深澤委員 現地はだれでも行けるような場所ですか。

○教育長 車道からは少し入っていくのですが、私有地のため公開はできませんので、報道以上の場所を教えることはできません。現地は防護柵のほか監視カメラも設置して、採取を防ぐ対策をとっています。

○深澤委員 現物は、国立科学博物館にあるのですか。

○教育長 採取した石は複数あって、国立科学博物館の門馬先生が持っているものとフォッサマグナミュージアムにもあると思います。

次に、長野県市町村教育委員会連絡協議会研修総会について、資料3開催通知をご覧ください。10月8日金曜日にオンラインで開催することになりました。小谷村教育委員会でZOOMに入室することになりますので、役場にお越しいただいて研修に参加していただくことになり、9時20分から11時35分までの予定です。後ほどご都合をお聞かせください。資料4「令和3年度宣言・要望(案)」ですが、協議会の役員さんが集まって起草していただいているものです。例年、協議会総会において、宣言・要望の決議を行っていますが、今年度はオンライン開催ということで、事前に書面で評決をとることになりました。この宣言・要望(案)にご異議がなければ、承認するというところで報告したいと思いますがいかがでしょうか。

○全委員 異議なし。

○教育長 それでは、全員「承認する」と報告いたします。

次に、令和3年度小谷村文化祭について、お話しさせていただきます。10月30日土曜日と31日日曜日、小谷村役場で開催を予定しています。内容については、展示のみとし、例年土曜日の午後に開催しています社会福祉大会と講演会は、行わないこととしました。芸能祭りは、昨年同様、事前に録画をしたものをケーブルテレビで放映させていただくこととしています。出店・バザーは行いますが、食品はテイクアウトのみします。開催可否の判断は、おおむね2週間前に長野県にまん延防止措置等重点措置が発出された場合は中止、おおむね2週間前に大北圏域で警戒レベル5以上に達した場合は中止、おおむね1週間前に村内で感染者が確認された場合は事務局で可否の判断をするという形で考えています。続いて、当面の予定については、記載のとおりです。今日、この後行うスポーツ表彰審査委員会と明日の県招地教委連絡会には、太田職務代理さんの出席をお願いします。その他ですが、事前に委員さんの旅費・費用弁償の関係で、会議等への出席一覧の確認をお願いしてあります。記載漏れや修正などありましたら、お知らせください。議題については以上となります。

日程第4 自由討議

○教育長 自由討議です。総合教育会議に、深澤委員さん欠席されましたが、前にいただいていた話題として「川内下のバス停」の件がありました。さっそく担当の観光商工係が対応してくれましたのでご報告します。通学指導等については、長期休み明けは荷物が多くて親が学校に送っていくことがあり、指導を受けられない児

童がいるということですので、学校とも話し合っただけで対応したいと思います。

○深澤委員 5月の連休・夏休み・冬休みの、長期休み明けには必ず登校指導をしていただいていると思います。先日は、秋の交通安全週間ということで、中学校前の国道の交差点付近に、村の交通安全協会の方と駐在さんが並んで指導してくださったのですが、ちょうど小学校は運動会の振り替え休業日で中学生しか通らず、とても残念に思いました。

○教育長 春・夏・秋の交通安全週間に合わせて、村内各所で人並作戦や交通安全指導などを行っています。今後は、学校の予定など考慮していただくよう要望します。

○深澤委員 一つ質問です。小谷村の子どもたちは、だんだん減少していくと思いますが、山村留学を行う計画はありませんか。

○教育課長 山村留学については、3校を統合して小谷小学校を開校する際、教育委員会としては「山村留学を行わない」という方針を明確にしています。以前、中土小学校で行っていた山村留学は、児童数が減っていく中で、複式学級を解消することが大きな目的でした。山村留学はとてもお金がかかります。保護者負担金は毎月5万円だったと思いますが、施設の維持管理の他に、教員免許を持った指導員複数名の配置、食費などで年間3千万円ほどの経費がかかっていたように記憶しています。連学年で児童数が18人以下の場合（1年生を含む場合は8人）だと複式学級になりますので、小谷小学校で複式学級になるのは当分先のことになります。複式学級を解消することは、地元の子どもたちにとっても、教育の上では大きな効果がありますが、複式学級にはならない現状で、小谷村で育った子ではない子どもに多額の予算を使うのはいかがかということを話し合いました。複式学級の心配が出てくるまでは山村留学は考えずに、小谷村で生まれて育った子どもたちのために予算を使おうという方針を出しました。

○太田久吉委員 家族で小谷村に移住してもらったほうが良いですね。

○教育課長 村長の選挙公約で山村留学ということを掲げていますが、それは子どもだけ預かる山村留学ではなく、家族で来て住んでもらいたいということを考えているようです。

○深澤委員 いろいろなケースがあると思いますが、例えば、スキーをやりたい子が、小谷村に別荘を持っていて、移住ではなく、親御さんはテレワークをしたり本拠地と行ったり来たりしながら、平日は誰かサポートできる方がいて世話をするという方法や、宿泊業をやっている方が居候のような形で受け入れるということは考えられないでしょうか。

○教育長 そのようなケースの場合、受け入れていただけたら生活ができて、通学できるのであれば可能だとは思いますが。

○深澤委員 夏期は親元において、冬だけ小谷に来るというケースはどうでしょうか。

○教育長 学校としては、指導要録や成績をつける関係がありますので、短期間での出入りは好ましくありません。

○教育課長 中土小学校の山村留学でも里親の制度があったのですが、1週間のうち1泊だったので、受け入れていただけたのだと思います。小学生・中学生を預かる

ということは、とても負担が大きいことですので、受け入れてくれる方を見つけるのが大変だと思います。また、中学生になると受験のことを考える必要があります。都会の高校受験に対する考え方と小谷では大きなずれがあり、親御さんとの考え等の違いなどが出てくるため、中土でも中学生の山村留学は受け入れていませんでした。山村留学を希望するご家庭が、責任をもって受け入れていただける方や宿を探して、転入していただければ、正式に転入生として受け入れます。このような場合は、子どもだけの転入もできると思います。

○教育長 お手元に、白馬高校 70 周年記念事業の延期についての文書をお配りしました、来年度に延期ということですので、ご承知おきください。他にありますか。

○全委員 な し

日程第 5 次回委員会の開催予定

○教育長 次回の教育委員会は、10 月 25 日 月曜日午後 4 時 30 分から開催することとしますのでお願いします。

○全委員 了承する。

3 閉 会

○教育長 以上で本日の会議事項は全て終了しました。これで令和 3 年度小谷村教育委員会 9 月定例会を閉会とします。ありがとうございました。

(17 : 15)